学校番号	109

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「生物」　（数研出版株式会社）						
副教材等	リードα生物　（数研出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎で学びきれなかった分野や、より詳しく学ぶ分野があります。生物にかかわる様々な現象が、どのように成り立っているのか。系統的に理論的に自ら学ぶ姿勢を持って取り組んでください。
身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、これからのヒトを含む生態系の在り方について考えていくために必要な，科学的な知識，能力，態度を身につけて判断することが目標となります。

2　学習の到達目標

「生物基礎」との関連を図りながら，生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い，生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ，科学的な自然観を育てる。
観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。【思考力、判断力、表現力等】

命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て，生命を尊重する精神を養う。【学びに向かう力、人間性等】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	さまざまな生物とそれを取り巻く環境がヒトの生活を豊かにしてきたことを理解し、知識を身に付けていること。	ヒトを含む生物とそれを取り巻く環境について考察し、地球環境のあるべき姿についての考えを表現している。身近な生物現象や生物に関わる科学技術について，それらについてのしくみを理解するとともに，内容を記録，整理していること。	ヒトを含む生物とそれを取り巻く環境について関心をもち，また、様々な情報ツールを利用し最新の情報収集を行い，意欲的に探究しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の進化	生物の進化 1. 生命の起源と進化 2. 遺伝子変化と多様性 3. 遺伝子組み合わせ 4. 進化の仕組み 5. 生物の系統と進化 6. 人間の系統と進化	a:進化にかかわる専門用語をきちんと整理して使用できること b:生物がどのように進化してきてこれからどのように進化していくのかを推定できること c:実習や観察、調べ学習を通して授業にどのようにかかわっていくのかをみる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題	プリント 問題集 振り返りシート
		細胞と分子 1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 化学反応とタンパク質 4. 膜輸送と情報伝達 代謝 5. 代謝とエネルギー 6. 呼吸と発酵 7. 光合成	a: 細胞、代謝にかかわる専門用語をきちんと整理して使用できること b:生命を支える様々な物質と特にタンパク質の働きに注目してどのように応用されるのかを推定できること。 c: 実習や観察、調べ学習を通して授業にどのようにかかわっていくのかをみる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題	プリント 問題集 振り返りシート

2学期	遺伝情報の発現と発生	1. DNA 構造と複製 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝子発現調節 4. 発生と遺伝子発現 5. 遺伝子を扱う技術	a: DNA の構造、働き、発現、発生にかかわる専門用語をきちんと整理して使用できること b: DNA にかかわる様々な事象がどのような形で成立しているのかに注目してどのように応用されるのかを推定できること。 c: 実習や観察、調べ学習を通して授業にどのようにかかわっていくのかをみる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題	プリント 問題集 振り返りシート
	生物の環境応答	動物の環境応答 1. 刺激の受容 2. ニューロンと興奮 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動 植物の環境応答 6. 植物ホルモン 7. 発芽と成長の調節 8. 器官分化と花芽調節 9. 環境変化と応答 10. 配偶子形成と受精	a:動物、植物を通して環境からの刺激に対してどのような反応していくのか、またそのシステムはどのようになっているのか、必要な専門用語をきちんと整理して使用できること。 b: 動物、植物を通して環境からの刺激に対してどのような反応していくのかに注目してどのように応用されるのかを推定できること。 c: 実習や観察、調べ学習を通して授業にどのようにかかわっていくのかをみる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題	プリント 問題集 振り返りシート
3学期	生態と環境	生物群集と生態系 1. 個体群の構造 2. 個体群と個体間の関係 3. 異なる種との関係 4. 生態系の物質生産と循環 5. 生態系と人間生活	a: 生態系や生物の行動にかかわる必要な専門用語をきちんと整理して使用できること。 b:生態系とのかかわりの中で生物が個体として、個体群としてどのように行動するのかまた、変化していくのかを推定できること。 c: 実習や観察、調べ学習を通して授業にどのようにかかわっていくのかをみる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題	プリント 問題集 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度